

留学だより vol. 6

<ヴェネツィア>

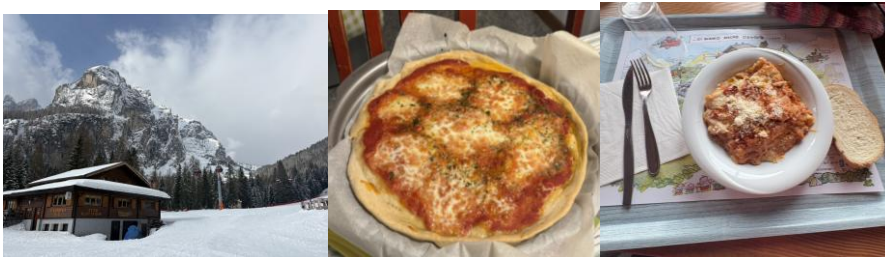
AFS でイタリアに留学している 17 期松井です。AFS の行事で一週間ヴェネツィア近くの家ホームステイをしました！普段イタリアの南に住んでいる留学生が北に、北に住んでいる生徒が南に行くというものでした。イタリアは、北部と南部とで性格や経済、食事などいろんな文化が違うと言われているので、また違う一面を知るいい機会でした！

バスと飛行機を乗り継いで、土曜日の夕方につきました。一人で飛行機に乗るのは少しドキドキでしたが、小さい空港だったこともあり、無事にたどり着くことができました。ホストファミリーは大学生のシスターと両親、アイルランドに留学中の同い年のシスターの四大家族でした。明るい家族で温かく迎え入れてくれました！

日曜日は近くの町でお祭りをやっていて、見に行きました。途中でホストファミリーおすすめ liquirizia を食べてみました。ゴムみたいなものとチョークみたいなものを試してみたのですが、想像通り、口には合わなかったです。

そのあとで山に行きました。近くまで車で行ってゴンドラで途中まで行き、少し散歩をしました！雪がまだ残っていてスキーをしている人もいました。雪景色を見ながらラザニアを食べました。日本だとスキー場といえばカレーやラーメンのイメージなのですが、イタリアはスキー場までしっかりパスタでした。

帰って来てからホストファミリーの選挙の投票についていきました。また、夜ご飯はホストファザーがピザを作ってくれて、マルゲリータと生ハムのピザを食べました。とてもヘルシーで、美味しかったです！



月曜日はチリ、インドネシア、トルコ、スペイン、ポルトガルからの留学生たちに会い、一緒に地域の学校に行き、事前に用意していた日本のプレゼンをしました。日本に興味を持ってくれる子が多くて嬉しかったです。そのあとで、せっかくの機会ということでみんなとチェキで写真を撮り、絵を描いてカードを作りました！

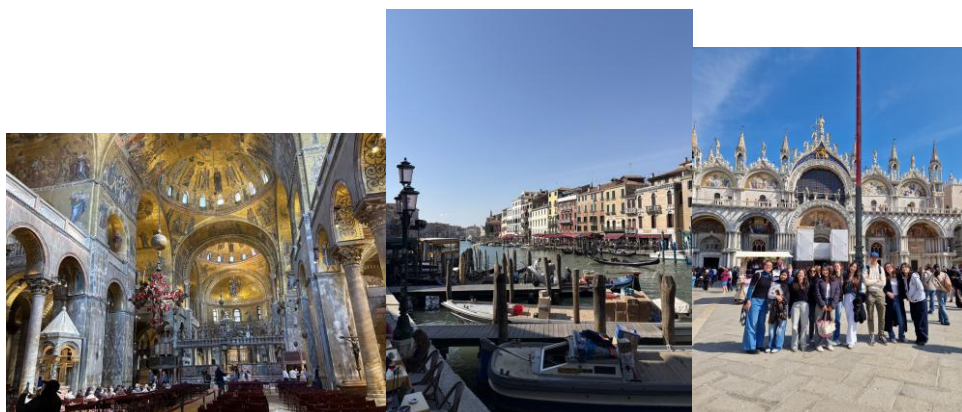
午後は他の留学生たちとハンバーガーとジェラートを食べ、パスタをつくりにいきました。

た。日本ではスパゲッティが一般的ですが、イタリアでは本当に様々な種類のパスタがあってトルテッリーニやニョッキを作りました。ニョッキは持ち帰ってホストファミリーと夜ご飯に食べました！初めてのニョッキで、自分の手作りを食べたのですが、なかなかの出来でおいしかったです。



火曜日は朝からヴェネツィアへ行きました！運よく絶好の観光日和でした。午前中はAFSのボランティアの大学生が色々と案内をしてくれて、教会や本屋さんを回りました。サン・マルコ寺院は外装も内装もとてもきれいで、大学生たちが歴史や建造について説明してくれて興味深かったです。午後は留学生たちとフリーにヴェネツィア観光をしました。サンドイッチやジェラートを食べたり、雑貨屋さんを回ったり散策しました！また、ヴェネツィア名物の小さいバゲットの上に具がちょこんとのっている、チケッティも食べられました！ヴェネツィアといえはすねくらいまで水で浸っていて、ビニールカバーをひざ下までつけているイメージでしたが、晴れだったのでそんな心配はいりませんでした！

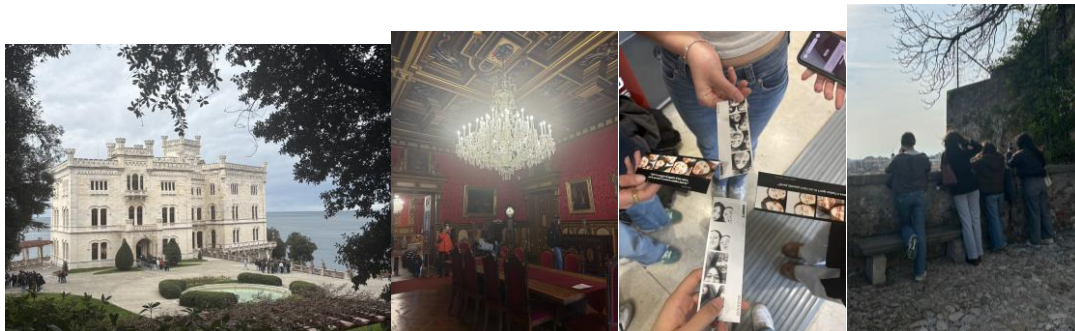
また、この日はホストマザーの誕生日だったので、花束をプレゼントしたりケーキを食べたりして一日を締めくくりました。



水曜日は少し離れたところにある中学校に自分たちの国のプレゼンをしにいきました。3クラス分、3時間プレゼンをして少し疲れましたが、日本のことをよく知ってもらえるきっかけになるし、イタリア語も上達した気がするのでよかったです。小さい学校だったので日本のご飯やアニメ、K-popが好きな子たちがうれしそうに話をしてくれてうれしかったです！

午後は Udine という近くの町を観光しました。ホストファザーが小さいころ住んでいて、シスターもそこで生まれ、マザーはその大学に通っていたらしく、小さいですがかわいい町でした！ヴェネツィアの歴史や現代の風景が展示されている美術館へ行き、それらを学ぶこともできました！

木曜日はトリエステという町に観光に行きました。トリエステは強風が有名でこの日も風がありましたが、運よく雨予報からは逃れられました！まず、ミラマーレ城というオーストリアの大公が住んでいたといわれる、海沿いにあるお城に行ってきました！中を見学できたのですが、ザ・お城という感じで目を引くきれいさでした。その後で、トリエステの中心部を散歩して回りました。ダウンを着ていても寒かったのですがジェラートを食べたり、ショッピングをしたりして楽しかったです。



金曜日の午前は月曜日と同じ高校へ行き、自己紹介と日本のプレゼンをしたり、ペインティングをしたりしました。ここでも日本の文化を好いてくれる子が多くてうれしかったです！夜ご飯はお別れ会ということで、他の留学生やホストファミリーみんなが集まって、それぞれが持ち寄ったご飯を食べました。私は、おにぎりをつくって持って行きました。インドネシアの子はインドネシアらしいスパイスのきいたお肉を持って来ていたり、スペインの子はスペインの卵料理を持って来ていたりして国際色豊かな夕飯でした。ご飯のあとはカードゲームやビリアルディーノ（サッカーのボードゲーム）をして、お別れをしました。たった一週間でしたが、お別れが悲しかったです。

土曜日はヴェローナという町に行きました。「ロミオとジュリエット」の舞台で、ヴェネツィアにも並ぶくらいきれいな街並みでした！ジュリエットの家やバルコニーに行きました。観光スポットまでの道のりまでもかわいい建物が多いのもヨーロッパ観光の魅力だなといつも思います！

一週間という短い期間でしたが、とても楽しい思い出をつくることができました。また、留学生の友達も増えて、有意義な時間を過ごすことができました。



<イースター>

イエスキリストの復活祭であるイースターは、日本でも広く知られていますが、実際に祝っている人は少ないように思います。イタリアでは、イースターの日（パスクワ）は家族と、その翌日（パスクエッタ）は友達と集まって過ごします。

復活祭に向けてカーニバルの終了日から四旬節（復活祭までの40日間）が始まります。敬虔な家庭では、金曜日は肉類を避けるなど小断食を行います。カーニバル（謝肉祭）の本来の意味とは、四旬節の節制生活前に思いっきり楽しんでしまおう！という期間です。クリスマス期間の終了（1月6日）からカーニバル期間が始まりますので、クリスマスからパスクアまでずっと一連の行事が続いているということになります。

パスクワは、家でホストファミリーと一緒に料理をしてご飯を食べました。フランス人はキッシュ、ホストマザーはラザニア、私はお好み焼きをつくりました。以前、一度お好み焼きをつくって、好評だったのでまたつくってみました！その他にも、パスクワならではのコロンバ（鳩の形のケーキ）、卵の形のチョコレート、卵をつつんだパンなども食べました！午後は親戚にあいさつに行って、パスクワを祝いました。



パスクエッタは、クラスメイトの家に行きました。朝の9時からお肉の下処理をして焼いたり、サンドイッチをつくったり、サラミを切ったりとみんなでご飯の準備をしました。私は前日に準備しておいたどらやきとおにぎりを持って行きました。ご飯を食べた

り、カラオケをしたり、踊ったり、バレーをしたりして楽しく過ごすことができました。来ていた友達のひとりがちょうど誕生日だったので、ハッピーバースデーソングを歌ってケーキも食べました。半分以上の子が「はじめまして」だったのですが、仲良くなれてそれもうれしかったです。

ここまで読んでいただき、ありがとうございました。

